

平成 17 年度調査・研究事業

白神山地藤里町地域活性化計画策定調査<<秋田県>>

【概要】

藤里町は人口減少と過疎化が進む中、基幹産業である農林業については、遊休農地の拡大や高齢化、後継者不足等への対策が課題となっている。

本事業は、16 年度からの継続事業として実施するものであり、農林業体験や自然体験の場の需要増に着目、白神山地での滞在型交流事業計画について、現状の評価と問題点を掘り起こし、民間参入による環境保全、経済発展を結びつけ各種課題の解決を目指す地域活性化計画を策定した。

【対象市町村、モデル地域等】

秋田県藤里町

【調査年度】

平成 17 年度

【提案・要請者】

秋田県藤里町

【提言内容・その後の活動等】

16年度調査において、『ブナのめぐみの里づくり』が目標像(コンセプト)として定められた。それを具体化するため、17年度は地域の資源と観光客のニーズから導き出した「食」をテーマとして「食」分科会を設置し、地元食材を生かした新たなメニューを考案した。

藤里町にとって、滞在型交流事業は、町全体の活性化、単独立町として町が自立を目指していく上で重要な取り組みである。このような認識に立ち、滞在型交流事業の今後の取り組みに当たり、以下のとおり提言した。

- ①滞在型交流事業の様々な場面に関わる人や組織が、町ぐるみで事業を推進していくための中心的な役割を担うことのできる組織を確立する。
- ②中核的推進組織を核に、行政・民間事業者・町民が協力・連携しあい、魅力ある雇用機会・新たなビジネス機会の創出など相乗効果、波及効果の高い地域経営、さらに次代の若者・子供達の町への誇り・愛着・定住化の誘導などに結びつく望ましい町全体としての体制づくりをする。

また、食の魅力づくりに向けた活動の場の設置や藤里の魅力の情報発信についても、継続して取り組むことを提言した。

【成果品】

報告書

【調査体制】

委員会

【委員長・座長】

羽田 耕治 横浜商科大学商学部貿易・観光学科教授

【事務局】(IVICT は除く)

佐々木 文明 藤里町総務課行政改革推進係長

細田 孝広 藤里町総務課行政改革推進係主任

【調査協力機関】

財団法人日本交通公社

【視察先・ヒアリング先など】

愛媛県内子町

【委員等】(分科会等は除く)

永田 麻美 財団法人都市農山漁村交流活性化機構「びれっじ」編集長

鎌田 孝一 秋田自然を守る友の会会長

柴田 要一 JAあきた白神藤里支店支店長

福司 栄 産直あさひ会(白神街道ふじさと運営)会長

佐尾 和子 株式会社白神ぶなっこ教室代表取締役

井手 正博 環境省白神山地世界遺産センター(藤里館)自然保護官

小坂 球実 白神山地きみまち舎代表

中嶋 扇一 白神森林組合二ツ井・藤里支所支所長

佃 忠久 藤里町商工会事務局長

白土 延子 株式会社藤里開発公社ホテルゆとりあ藤里支配人

伊藤 孝年 財団法人藤里町観光物産協会事務局長

田代 秀隆 総合開発センター食堂部代表

細田 薫 レストハウス白神代表

中川 ツヨ 農家宿泊実施希望者

小山 ミチ 農家宿泊実施希望者

工藤 憲子 藤里町連合婦人会会長

山田 ユリ子 JAあきた白神女性部藤里支部支部長

保坂 龍弥 秋田県山本地域振興局総務企画部地域企画課長

門田 實 藤里町総務課長

藤原 文雄 藤里町事業課長

【区分】

電源地域振興指導事業